

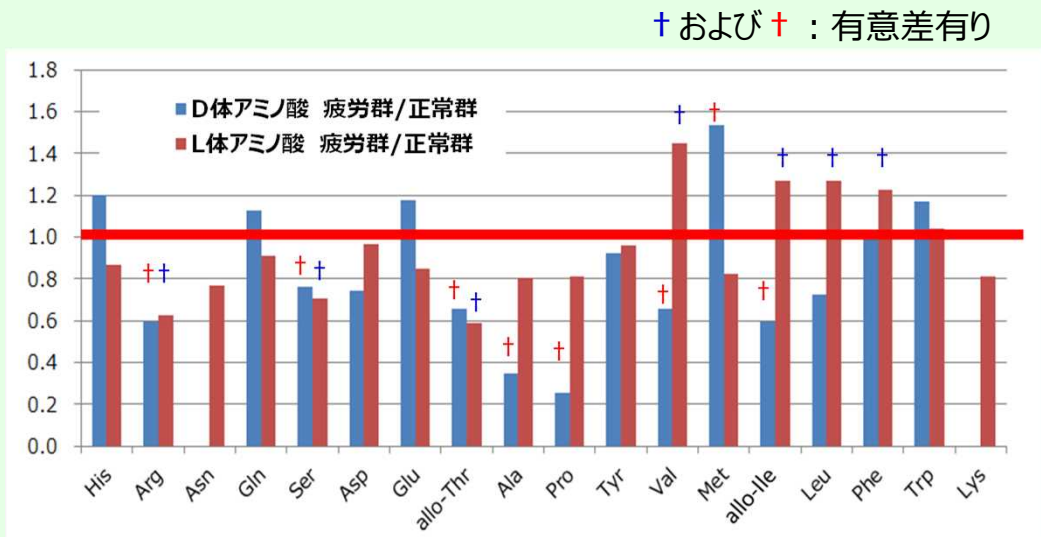
特許第7360807号 疲労状態の検出を補助する方法

生体から採取された血液試料中のD体アミノ酸及びL体アミノ酸を定量し、疲労の指標として**客観的データが取得できます。**

POINT

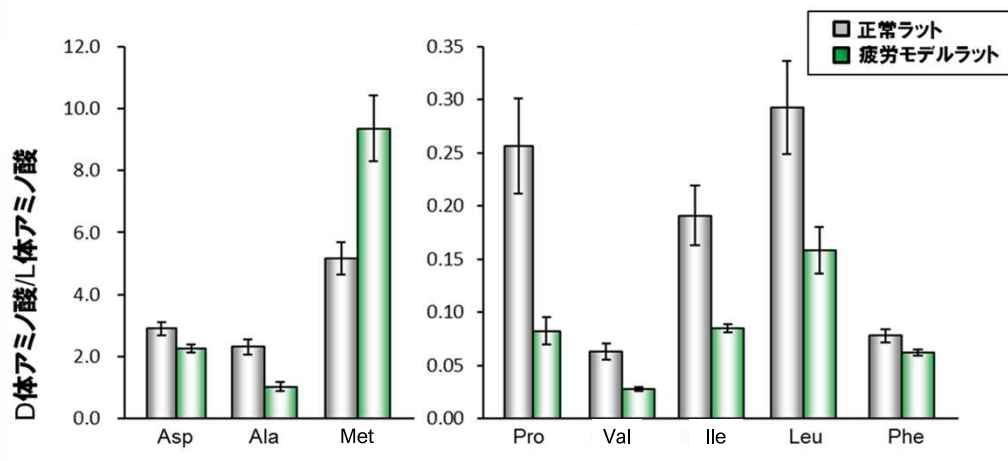
- ◆ 血液試料中のD体アミノ酸を定量し、**定量されたD体アミノ酸の濃度を指標**として疲労状態を検出します。
- ◆ 血液試料中**D体アミノ酸**の疲労群と正常群の濃度比(**疲労群/正常群**)で、疲労の指標とします。
- ◆ 血液試料中の**D体アミノ酸及びL体アミノ酸**を定量し、定量された各D体アミノ酸の濃度と、該各D体アミノ酸と同種の各L体アミノ酸の濃度との比 (**D体/L体**) を指標とします。

疲労群/正常群



- ◆ D体アミノ酸濃度の疲労群/正常群は、アルギニン(Arg)、セリン(Ser)、スレオニン(Thr)、アラニン(Ala)、プロリン(Pro)、バリン(Val)、イソロイシン(Ile)で、有意に低くなった。
- ◆ D体アミノ酸濃度の疲労群/正常群は、メチオニン(Met)で、有意に高くなった。

D体濃度/L体濃度



- ◆ D体アミノ酸濃度/L体アミノ酸濃度は、アスパラギン酸(Asp)、アラニン(Ala)、プロリン(Pro)、バリン(Val)、イソロイシン(Ile)、ロイシン(Leu)、フェニルアラニン(Phe)で、疲労群は正常群より有意に低くなった。
- ◆ D体アミノ酸濃度/L体アミノ酸濃度は、メチオニン(Met)で、疲労群は正常群より有意に高くなった。